

みずしるべ

編集・発行

国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

〒505-0301 岐阜県加茂郡八百津町八百津3351

ホームページアドレス http://www.cbr_mlit.go.jp/shinmaru/

メールアドレス shinmaru@mlit.go.jp

TEL0574-43-2780 FAX0574-43-3921

平成29年2月21日発行



祝 県道井尻八百津線橋梁連結

平成29年2月16日



県道井尻八百津線橋梁連結式

2月16日（木）、新丸山ダム工事事務所、岐阜県可茂土木事務所、橋梁の架設を施工した株式会社IHインフラ建設と株式会社安部日鋼工業の共催で、新丸山ダム建設に伴い架替えが必要になった県道井尻八百津線の本曾川を渡河する橋梁の連結式を行いました。

本曾川を挟んで隣接する八百津町と御嵩町の町長をはじめ地域の代表の方々にご臨席いただき、橋梁の連結と両町が深く結ばれることを祝いました。

なお、工事は平成29年秋頃の開通を目指して進めてまいります。



「連結の儀」をされる八百津町長、美濃加茂市長、御嵩町長（左より）



丸山ダムを背後にドローンで記念撮影

丸山ダム60周年

丸山ダムは、昭和31年に完成してから平成28年で60周年を迎えました。丸山ダムの歴史を振り返り、その役割について今一度地域の皆さまに理解を深めてもらうため、丸山ダムではさまざまな記念イベントを開催しました。

平成28年12月3日には、八百津町ファミリーセンターにおいて、丸山ダム60周年記念実行委員会が主催する「丸山ダム完成60周年記念シンポジウム」が開催され、約160名にご参加いただき、丸山ダムの記録映画「谷間の歴史」上映、八百津町錦津公民館長による「写真でみる八百津発電所の歴史」御講演、丸山ダム管理所長による講演「丸山ダム完成60年の歴史を振り返る」、ダムマイスター等による丸山ダムの魅力やダムツーリズムの楽しさに関するお話、当事務所長による講演「丸山ダムパワーアップ 新丸山ダム建設事業について」などを行いました。

また、日本初の近代化ダムとして施工された丸山ダムの建設技術などを振り返る取り組みとして「温故知新丸山ダム」と名付け、当所職員自ら当時の技術文献や建設設備跡などを調べ、今後本格化するダム本体の建設に向け、地域に根ざした技術力の向上をはかってまいります。



丸山ダム完成60周年記念シンポジウム



丸山ダム建設設備跡の調査（御嵩町）

新丸山ダム 転流工

ダムの建設は、調査着手から完成まで、いくつかの段階を経て完成していく大規模構造物の代表と言えます。

当事務所では、新丸山ダムの本体建設工事の一環として、今年度から「転流工」の建設に着手しています。

この「転流工」とは、ダムの本体工事を安全・円滑に進めるため、洪水時にダム湖の水を迂回させる施設です。

この「転流工」が完成すれば、現在の丸山ダムの機能（洪水調節や発電の機能）を維持したまま、ダムの本体工事を行うことが出来るようになります。



- 『転流工』は洪水時にダム湖の水を地下トンネルなどで迂回させるものです
- この『転流工』の完成により、新丸山ダムの工事を安全・円滑に進めることが出来ます

大学生への現場見学会を実施

10月31日、11月7日に名城大学都市情報学部3年生（各約40名）、12月8日に中部大学工学部3年生（約40名）を対象に現場見学会を行いました。

大学において、建設や公共事業に関する分野を専攻している学生のため、ダムや治水効果などの一般的なダム事業の説明のほか、ダム事業における環境保全対策や浸水被害防止効果と事業費からみた費用対効果分析など専門的な内容を加えた説明を行いました。

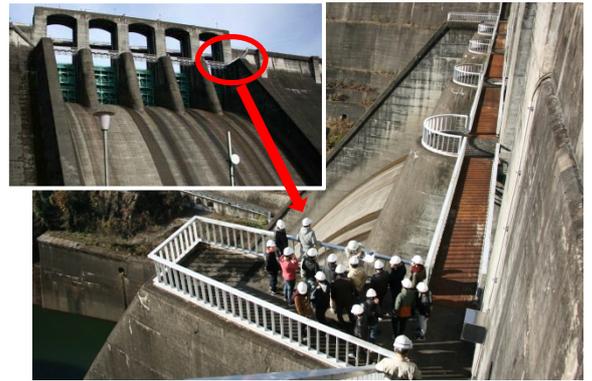
職員からの説明を受けて、学生からはダムの構造や環境に対して、積極的に質問が出されました。その後、現地に移動し丸山ダムや橋梁の工事現場を見学しました。

今回の見学会で、ダムや建設の管理、また工事現場に興味を持っていただき、職業の選択肢の一つとして参考にしていただければと思います。

見学会は、児童や学生、一般の方など対象者にあわせた見学会を実施しております。平成28年度は約700名（H29.2時点）の方に参加していただいております。お気軽にお問い合わせ下さい。



ダム事業の説明後に疑問点など質問する学生



丸山ダムのゲートを間近で見て大きさを実感

八百津町産業文化祭

八百津町産業文化祭が11月12日（土）、13日（日）、晴天のなか、八百津町ファミリーセンターで開催されました。当事務所は初日に、木曾川の洪水の歴史や新丸山ダム建設に関するパネル展示を行い、来場者された方が木曾川やダムに関するクイズにチャレンジしました。チャレンジされた方には、紅葉した葉を利用した「しおり作り」を行っていただき、小さなお子さんから大人まで、たくさんの笑顔が見られました。



トピックス

●冬景色の五宝滝（八百津町）

八百津町中心部から5キロほど山に入った場所にある五宝滝。たいへん冷え込んだ1月中旬には周囲の木々は雪化粧をし、いつもとは違った雰囲気を感じさせていました。

春は新緑、秋は紅葉と四季とともに表情が変わる渓谷を楽しむハイキングコースもあります。宮本武蔵伝説も残る五つの滝をのんびり散策してみませんか。



H29.1.16 撮影



紅葉の五宝滝

